

区議会レポート

91号



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

本号の内容

表面：第4回定例会報告など

裏面：移動式遊び場報告

予算要望提出・SDGs 素案など

2022年12月21日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

令和4年葛飾区議会第4回定例会報告

◆11月29日から12月15日まで16日間の会期で令和4年葛飾区議会第4回定例会が開かれました。

◆令和四年度第四次補正予算 48億7,565万円議決

◆今定例会では12月15日の最終本会議で物価高騰緊急対策や新型コロナウイルスワクチン接種費用などを含む第四次一般会計補正予算 48億7,565万円が議決されました。◆この第四次補正予算では、物価高騰緊急対策として、福祉施設・医療機関など物価高騰の影響を価格転嫁できない業種に対しての支援が盛り込まれました。◆また、地球温暖化対策推進事業経費として、太陽光発電やEV車への助成が好調なため、省エネルギー設備等導入費助成が追加計上されました。◆その他、観光レクリエーション事業経費として柴又の川甚跡地の活用に向けた計画策定のための業務委託費、日本語の初期指導の必要な子どもが増加したことへの対応のため、総合教育センター管理運営経費の中で「にほんごステップアップ教室」の指導者の補充などが盛り込まれました。

■相撲部屋への用地貸付 ◆相撲部屋（大島部屋）に青戸七丁目の公共用地の貸し付けが正式に決定しました。相撲部屋開設は令和5年10月頃を予定しています。

■不登校・児童生徒数が増加 ◆令和3年度の30日以上登校していない不登校の児童・生徒数が公表されました。小学校では318人（前年度より122人増加）、また中学校で648人（前年度より215人増加）の子どもたちが不登校になっていることが明らかになりました。個々

の子どもの状況を分析しなければなりません、新型コロナウイルス感染症が影響しているとも言われています。これまでも、一人一人の背景の分析（アセスメント）体制やスクールソーシャルワーカーの増員、学校内の校内適応教室の増設などを進めてきましたが、今後、さらに一人一人の子どもの学びを支えるための体制の整備を求めています。

■葛飾区学校適正規模に関する方針の提言が報告

◆区の将来の人口推計や、再開発などのまちづくり等を踏まえ、区内学校の適正規模や適正規模を維持するための対応を検討していた、学校適正規模等検討委員会から学校適正規模に関する方針（提言）が示されました。全学年で単学級になっている小学校2校（木根川小学校・南綾瀬小学校）、単学級が生じる可能性のある中学校1校（中川中学校）が対応の必要な学校として示されました。子どもの学びの保障とともに「まち」の中心としての学校のあり方について議論を進めていきたいと思えます。

■四ツ木駅前ロータリーの事業認可決定

◆都市計画道路葛飾区画街路第6号線（京成線四ツ木駅北側ロータリー部）の事業認可が決定しました。事業期間は令和11年度中です。



最終本会議での建設環境委員会報告

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住33年 ●防災士 ●東海大学第二工学部建設工学科卒業 ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団班長 ●葛飾区ポッチャ協会会長 ●学童保育クラブ増設運動、保田養護学校存続運動、三番瀬保全活動、保育園、学童保育クラブ父母会、小・中PTA連合会、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワークなどに携わる ●元都議会議員秘書を経て2013年区議会議員選挙で初当選・2021年三期目当選 ●議会議員所属：建設環境委員会委員長・区民サービス向上対策特別委員会・議会運営委員会など

◆子どもの遊びを支える・移動式遊び場のデモンストレーション◆

◆去る11月3日に開催されたかつしか子ども・子育てフェスタの一角で移動式遊び場「プレーカー」のデモンストレーションを実施しました。◆移動式遊び場とは、1970年代にドイツで発祥したと言われ、自動車やリヤカーなどに遊具などを搭載し、広場や道路など、公開空地を遊び空間に変化させたり、既存の公園などをより豊かな遊び場に変化させるものです。◆遊びは子どもの成長に欠かせないものですが、遊び環境は決して豊かなものとは言えません。



プレーカー・からふる号の前で

遊びに関わるための環境づくりとして移動式遊び場の取組みは既存の遊び場の枠を越えていく可能性を感じるものです。◆今回は遊びの環境を考えるため、墨田区の一般社団法人SSKの「からふる号」に出動を依頼し、子育てネットワークの協力を得

てリリオパークで実演しました。◆会場に到着したワンボックスカーの「からふる号」から、木の遊具（組み合わせると迷路や隠れ家になる木の箱）やボールプールなどが次々と運び出されました。



移動式遊び場の様子

からふる号の緑色の車体は学校の黒板と同じ塗料で塗装され、チョークで絵が描けるようになっており、実際に車全体に落書きをして楽しんでいました。◆遊具を並べ終わると早速子どもたちが遊具を使って遊び始めましたが、からふる号に同行したSSKのスタッフは特に子どもの遊びに積極的に関わることはせず、見守りをしていました。話を伺うと子どもに対して遊びの「指導」や「誘導」などは行わず、子どもが遊具等を介し自ら遊びを作り出す主体性を大切にしているとのことでした。◆今後子どもの遊びの大切さを学び、遊び環境の整備を進める取組みを進めたいと思います。

■「葛飾区役所の位置を定める条例」可決■

◆今定例会では新庁舎整備に向けて、「区役所の位置を定める条例」が可決されました。◆立石北口再開発事業は、木造密集地域の危険性の解消のため、平成8年に地権者による再開発研究会が発足し、京成押上線連続立体化事業と連携しながら、第一種市街地再開発事業（権利変換方式）として検討がされてきました。◆区役所総合庁舎整備事業は庁舎の老朽化、耐震性、水害対策などへの対応のため平成20年に基金の積み立て開始、平成22年からの「あり方検討会」を経て立石北口再開発ビルへの入居（床取得）での整備が検討されてきました。◆新庁舎の整備については災害時の司令塔機能確保や環境性能向上、現在実現されていないサービスの導入の検討など様々な議論がなされてきました。◆現在、地元地権者の同意が

85%を越え、生活再建への計画もそれぞれ進められている中、今回の定例会に区役所の位置を立石北口再開発地域に定めるための条例（位置条例）が上程され、投票により賛成31票・反対9票で議決されました。◆駅前再開発事業に関しては組合施工を選択してきたことにより、関わりが難しいと感じてきましたが、その中でも区には地域の合意形成を求めてきました。立石らしさや立石のポテンシャルの評価、地域の歴史の記録化や継承を求めつづけてきましたが、今後、立石の様々な資源を活かしたまちづくりを進める必要があります。工事が始まると数年間は駅前が仮囲いに覆われることも課題で、その間、まちを空白にしない取組みも重要です。◆新しいまちに命を吹き込むのは人の力です。人と人とのつながりを活かしたまちづくりを進めていきたいと思っています。

◆かつしか区民連合令和5年度予算要望書提出◆

◆去る10月21日にかつしか区民連合として青木かつのり区長に令和5年度の予算要望書を提出しました。新型コロナ、物価高騰への対策、内部統制制度にもとづいたリスクマネジメント、SDGsの実現、災害対策、地球温暖化や生物多様性など環境政策の推進、子育て支援の体制整備、ヤングケアラーなど介護者の家庭への支援など区制全般について要望をしました。



区長に予算要望書を手渡す区民連合メンバー

◆葛飾区 SDGs 推進計画（素案）パブリックコメント◆

◆第4回定例会の区民サービス向上対策特別委員会で、「(仮称)葛飾区 SDGs 推進計画（素案）」が報告され、12月15日から1月16日までパブリックコメントが始まりました。◆2030年のゴールに向けての具体的な取組みが7つのプロジェクトとして提示されました。◆委員会ではSDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」というメッセージを明確にし、社会的排除に陥っている方々にも目配せをしている姿勢を明確にするべきと指摘させていただきました。◆2030年のゴールを明確にしてのバックキャストでの目標設定と、フォローアップ体制の整備が重要です。◆また、今後目標実現に向けては区民との協働を進める必要が

あります。本来SDGs実現には多様な関係者（ステークホルダー）の参加が欠かせませんが、今回の推進計画素案の策定ではスケジュールの関係から区民参加での委員会などが設けられなかったとのことです。そこで今回の素案に対してのパブリックコメント募集を区民参加の機会として捉え、一人でも多くの方から意見を届けていただきたいと思います。◆区のホームページ等で意見を募集をしていますので、右のQRコードからアクセスしていただき、意見を応募していただけますようお願いいたします。パブリックコメントQRコード



◆雑感◆2022年も残す所あとわずかとなりました。昨年の区議会議員選挙から一年経ち、任期の四分の一が過ぎました。又、区議会議員としての活動も9年を過ぎ10年目に入りました。これも多くの皆さまの激励や支えがあつてのことと感謝申し上げます。◆新型コロナが収まらず、さらにロシアのウクライナ侵攻の影響など様々な課題が山積する状況の中、区民のための活動ができていくのか逡巡する毎日です。◆SDGsに限らずとも環境対策や防災など持続可能なまちづくり、また、社会的排除を解消し誰一人取り残さない社会を目指すことは現在を生きる人間としての責任です。より良い未来を目指し尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。